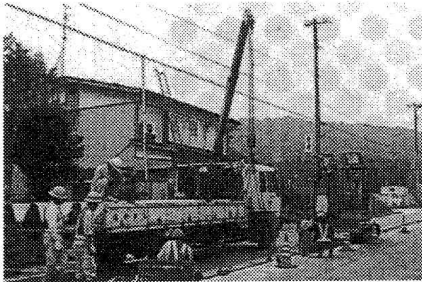


## 消雪パイプのイメージを一新しました。

工期を短縮し、  
 道路上から夜間の保安施設を撤去し、  
 車両や歩行者の安全を確保しました。  
 道路上の消パイの幅をずっと狭くし、  
 都市美観にマッチしました。

ブロック布設



現地搬入 必要な数量だけ現場搬入します。

ブロック布設

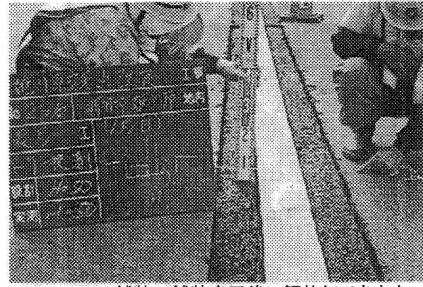


布設作業 特殊ジョイントで容易に接続できます。

ブロック布設状況



ブロック布設



アスファルト舗装 舗装完了後に解放ができます。

冬期における路面サービスの確保に欠かせないのが、融雪施設であることは申し上げるまでもありません。そのなかでも、消雪パイプは最も安価で且つ効果的な施設として、道路融雪の主流をなしてきました。この工法の特徴は、道路上に取付けられた散水ノズルから地下水などを散水し、その熱エネルギーと位置エネルギーで融雪を行う方法です。

消雪パイプの工事にあたっては、道路の掘さく、配管、コンクリート打設、そして養生という作業が必要となります。なかでも、コンクリート養生は施工時期やコンクリート種類により若干日数が違うものの、養生中は道路に保安施設を施しておかなくてはならず、このことが通行車両や住民の人達にとって、一時的であるが道路サービスの低下になっています。

そこで、消雪パイプ製品の品質をあげ且つ早期に道路を解放する手段として開発しましたのが、マルチブロックです。

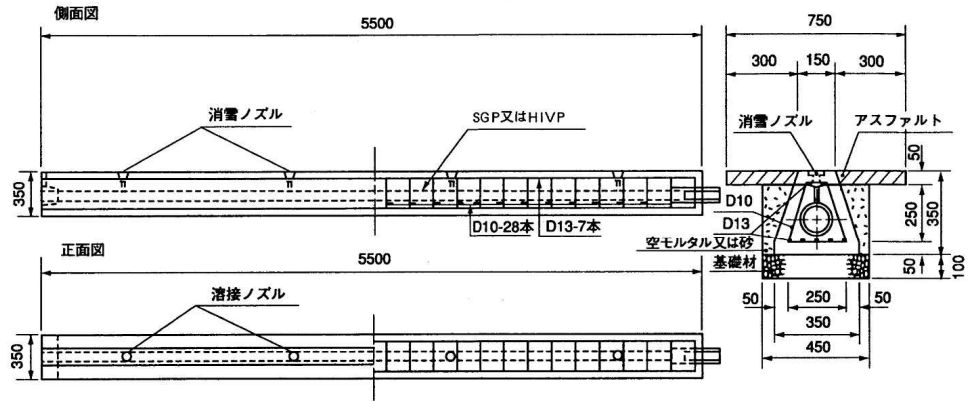
これからの消雪パイプ布設に、都市美観にマッチした消雪パイプブロック工法で迅速な施工をしてみませんか。

## 設計条件

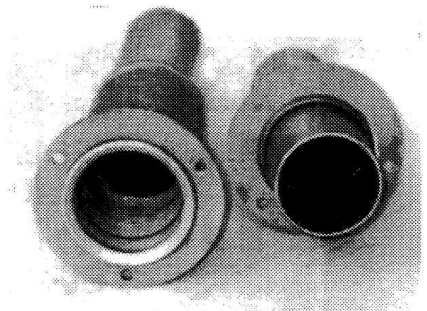
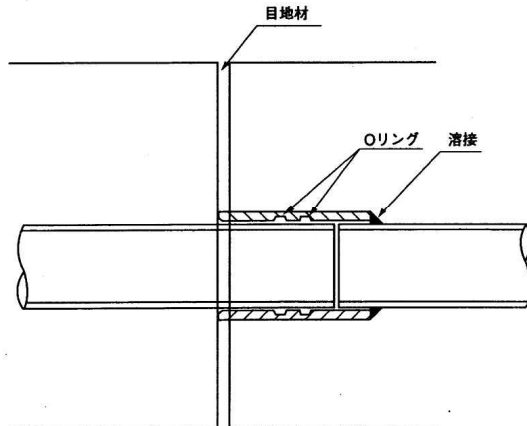
項目	数値
設計輸荷重	50kN(衝撃係数0.4)
コンクリートの設計基準強度	45N/mm <sup>2</sup>
鉄筋の許容引張応力度 (SD345)	180N/mm <sup>2</sup>

※基礎地盤反力係数 $K_v=2.0 \times 10^6 \text{ kN/m}^3$

## 標準構造

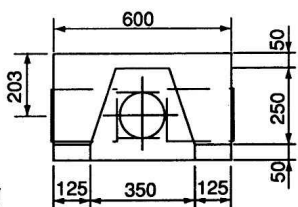
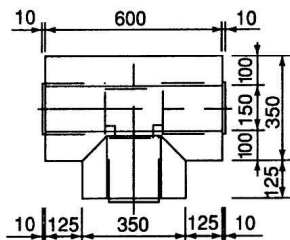


### 散水部

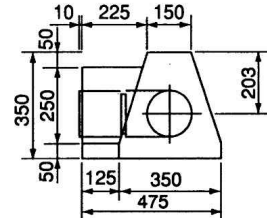
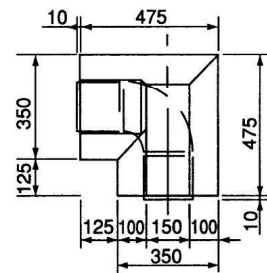


### 散・放水 ジョイント部

#### T型



#### L型



### その他

